

令和3年度 静岡市立宮竹小学校 学校だより

宮竹っ子

11月号 令和3年10月21日

後期・第4ステージ



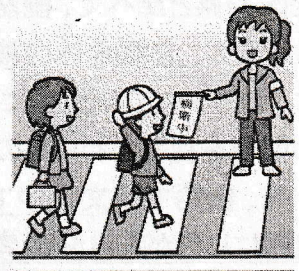
最近は、8月や9月のとても暑い時期に比べると、かなり涼しくなり、過ごしやすくなってきました。学校は10月11日(月)から後期・第4ステージがスタートしました。第4ステージは、スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋と言われるように何事にも集中して取り組める季節になります。一人一人がコロナに負けず、めあてをしっかりとって取り組んでいけるよう支援していきます。

後期始業式は、今回リモートで実施しました。児童代表の言葉では、どの子も後期がんばりたいことを力強く発表してくれました。コロナ禍であっても子供たちは、毎日がんばっています。後期も引き続き、子供たちのがんばりを応援していきたいと思えます。御家庭でも、子供たちを励ましてあげてください。

始業式の話

前期の面談の際、何人かの保護者の方とお話をする機会がありました。その際、あるお母さんが旗振りをした時のお話をしてくれました。残念なことに、子供たちの様子はあまり良くないとのことでした。特に挨拶においては、どの子も元気がなく、時には挨拶をしても返してくれない子もいるとのことでした。

私も毎朝、正門で子供たちを迎えています。2年前は、そのお母さんがというような子供たちの姿でした。今では、ほとんどの子が進んで挨拶をしてくれるようになりました。しかし、旗振りをして下さっている保護者の方、地域の方にはまだまだ挨拶ができていないのが現状です。先日の始業式で、その話を子供たちにしました。旗振りの人、地域の人にも挨拶のできる宮竹っ子になってもらいたいと投げかけました。そして、後期が終わった時、お話くださったお母さんから「宮竹小の子供たちは挨拶ができるようになりましたね。」とってもらえるようになって欲しい旨を伝えました。



次の日、正門で挨拶をしていると、何かいつもと違うように感じました。自分から進んで挨拶をしてくれる子が増えたのです。これは?と思い、旗振りを終えた保護者の方に子供たちが挨拶できていたか聞いてみると、そのお母さんは「校長先生、今日はどうしたのですか。いつもより挨拶をしてくれる子が多かったです。」と答えてくれました。始業式で話をしたことを伝えると、お母さんは、「そうだったんですね。ぜひ、子供たちを褒めてあげてください。凄くがんばっていましたよ。」とおっしゃって下さいました。本当に嬉しかったです。今後の子供たちを見守ってください。

校長 山崎 元靖